



# 生協連会報



2022

11

No.511

## <活動報告>

消団連主催東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業見学会開催報告 .....	2
第3回地域・まちづくり委員会報告 .....	4
第1回職域生協部会報告 .....	6
政策検討会開催報告 .....	8
九都県市合同防災訓練開催報告 .....	10
ウクライナ支援第3回「お茶しませんか」開催報告 .....	11



## 貧困学習会



# 貧困に負けない。

# 支え合う社会

# ～反貧困ネットワークの

# 活動から～

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが始まり、3年が経過しました。以前からくらしが厳しい弱い立場の人たちが、一層困窮する事態となっています。

今回の学習会では、2020年3月より「新型コロナ災害緊急アクション」に取り組む（一社）反貧困ネットワークから講師をお招きし、くらしの中にある貧困の現況、また多様な団体との支え合いによる支援活動の様子などをお聞きします。

今私たちに何ができるのか、地域の中でどのように支え合うことができるかなど、皆さんで考えたいと思います。

日 時 2022年 12月 6日(火) 入室13:40 14:00～16:00

開催方法 1. Zoomを使ったオンライン開催  
2. 後日YouTube上で限定配信

参加者 生協組合員・生協役職員ほか 最大100人

講師 一般社団法人反貧困ネットワーク 事務局長 瀬戸大作さん

申し込み方法

11月30日(水)までに下記の入力フォーム、  
もしくは、右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/qdFLWYcDHwvdFkLy8>



### ◆プログラム

第1部 瀬戸大作さんによる講演

第2部 分散交流会

### ◆講師紹介

一般社団法人反貧困ネットワーク  
事務局長 瀬戸大作さん



神奈川県生まれ。パルシステム生活協同組合連合会職員。避難の協同センター、反貧困ネットワーク事務局長。2020年「新型コロナ災害緊急アクション」を立ち上げて事務局長に就任。

主催

千葉県生活協同組合連合会

TEL 043-224-7753

Fax 043-239-6038

## 千葉県生協連の主な活動予定 2022.11～2023.1

11月			12月			1月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	火	MCA無線通信訓練/「子どもたちに平和な未来を2023」第1回実行委員会	1	木	第7回フードバンクと千葉県内生協連携キャンペーン実行委員会/MCA無線通信訓練	1	日	
2	水		2	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第6回幹事会	2	月	
3	木		3	土		3	火	
4	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第5回幹事会	4	日		4	水	
5	土		5	月		5	木	サポちば理事会
6	日		6	火	貧困問題学習会	6	金	ウクライナ支援「お茶しませんか」第7回幹事会/MCA無線通信訓練
7	月	成年年齢引き下げ問題に関する公開講座	7	水		7	土	
8	火		8	木		8	日	
9	水		9	金		9	月	
10	木	サポちば理事会	10	土		10	火	
11	金		11	日		11	水	全国方針検討会議
12	土		12	月	第5回食・消費者委員会	12	木	全国方針検討会議
13	日		13	火		13	金	
14	月	大学生協と地域生協の交流会第1回実行委員会	14	水	協同組合提携女性交流会	14	土	大学生協と地域生協の交流会
15	火	消団連代表幹事会	15	木		15	日	
16	水	第3回災害対策委員会	16	金		16	月	
17	木	第3回理事会	17	土	ウクライナ支援第4回茶話会「お茶しませんか」	17	火	
18	金	第2回福祉・たすけあい事業部会	18	日		18	水	
19	土		19	月	第4回地域・まちづくり委員会	19	木	
20	日		20	火		20	金	
21	月	第4回食・消費者委員会	21	水		21	土	
22	火		22	木		22	日	
23	水		23	金		23	月	
24	木		24	土		24	火	
25	金		25	日		25	水	
26	土	ウクライナ支援第4回茶話会「お茶しませんか」	26	月		26	木	第4回理事会
27	日		27	火		27	金	
28	月		28	水		28	土	
29	火		29	木		29	日	
30	水		30	金		30	月	
			31	土		31	火	

## 消費者団体千葉県連絡会主催

# 東京電力福島第一原子力発電所廃炉作業見学会

## 開催報告



日 時：2022年10月4日（火）7時～19時30分

視察場所：東京電力福島第一原子力発電所（福島県双葉郡大熊町）

参加者：会員団体4団体から15名

概要：

消費者団体千葉県連絡会（以後、消団連千葉）では、7月に来年には海洋投棄が予定されるアルプス(ALPS)処理水について学習会をおこないました。今回は、7月の学習を受けて、実際の廃炉作業の現状と地域の復興状況を知るために、東京電力福島第一原子力発電所の見学を実施しました。



廃炉資料館に到着。初めに事故の原因と経過、現在の廃炉作業の進捗、汚染水処理などについて説明を聞きました。

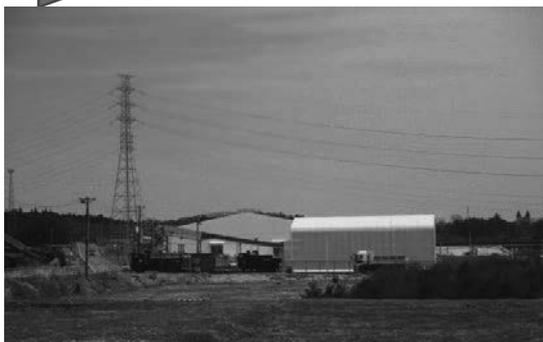


最新の映像システムで、事故発生からこれまでの経過をまとめたビデオを視聴しました



廃炉資料館の会議室の様子

その後、東京電力のバスで、2キロほど離れた福島第一原子力発電所へ移動しました。第一原発は、大熊町、双葉町にまたがって設置され、帰宅困難地区を通過して向かいました。最近ようやく一部解除になった地域もありましたが、原発周辺には住民の姿はありませんでした。



汚染された土を保管する中間貯蔵施設  
(大熊町夫沢地区)



大熊町熊地区周辺

到着後、東電の見学用バスで、発電所構内を視察しました。



原子炉1号機建屋

建屋前で一旦バスから降りて見学しました



原子炉3号機建屋



地下水や雨水が汚染されてできた汚染水を保管するタンク 今でも増え続けています



初期に使用した汚染水を保管するタンク  
急場しのぎに給水タンクや溶接型のタンクを使用したため  
老朽化や破損などがすずみ、左の写真の一体型の  
新しいタンクにあらためて詰め替えているそうです



高性能 ALPS(多核種除去施設)  
汚染水を処理する施設



高性能 ALPS(多核種除去施設)で処理をした汚染水  
について、東電職員から説明をききました



プラスチックのボトルに、高性能 ALPS(多核種除去施設)で処理した水をいれたものを、手に取って確認しました。ALPS 処理水に含まれるトリチウムは極微弱なので、ボトルを通しての被曝はないとのことでした

◆参加者の感想から

- ・福島第一原発がどうなっているのか知りたかったので、現場を見せてもらったのが大変参考になった。
- ・第一原発構内では作業員の方々の並々ならない苦労もされている中ですが、汚染水の増加・デブリの取り出し・使用済み核燃料の処理が途方もなく時間がかかることがわかりました。原子力の利用について、事故が起きた際に現在の技術で扱いきれない現状を知る事ができました。
- ・構内見学をして、大変なことだと思いました。早く住民が帰還に弾みがつくことが期待できると感じました。

## 第3回地域・まちづくり委員会報告



日 時：2022年10月5日（水）10：00～12：00

開催方法：Zoomを活用したWeb会議

出席：佐藤・丸岡（パルシステム千葉）、本間・篠原（コープみらい）、  
田端・柴山（生活クラブ千葉）、山田（なのはな）  
高橋（ちば住宅コープ） 上山・佐久間・竹内（生協連）  
オブザーバー 蔦・小林（日本生協連） 敬称略

### 内 容

#### 1. 生協の地域に関わる活動についての報告

各生協の地域に関わる活動の中から1つ選んでいただき、その活動について説明をしてもらいました。

##### ○パルシステム千葉

「フードバンクちば」の隣にある「花の駅そが」を利用した「SDGsを活かした地域コミュニティづくり」の活動が始まりました。2021年4月より、「フードバンクちば」「ワーカーズコープ」「淑徳大学」「パル千葉」の4団体で、活動について検討を始めました。CO・

OP共済ささえあい助成金を活用し、1年目はコミュニティガーデンづくりをおこない、敷地の広さを有効に活用できる歩く健康体操「歩活」を実施した。また、淑徳大学の学生さんは、「消費者問題学習会」を開催しました。地域へはチラシを作成し、講座開催などをの周知しました。また今年9月には地域への浸透を目的とした「わくわく体験まちづくり」のイベントを連携団体と開催し、大変盛り上がりました。開催することで、良かったことや今後の課題もわかり、地域の人々を巻き込んで、継続して活動ができるようにしていきます。

##### ○コープみらい



みらい 本間さん

地域や団体が大きく関わる地域のブロック委員は職員ではなく、地域の組合員です。ブロック委員による多様な参加の場づくりは、多様な人と人との出会いにより、豊かな地域づくりをすることに繋がっています。そしてこの繋がりが網の目の様に広がって行くことを大切に活動しています（参加とネットワークの活動）。「参加とネットワークの活動」の方針に基づき、県内6つのブロックで

は、地域の課題や時代のニーズ、社会の変化に合わせて取り組みをすすめています。地域の居場所づくり、食や食品、くらしを介した様々な活動は、地



パル千葉  
丸岡さん

域の人々や団体、また行政などと繋がることで誰一人取り残さない社会の実現をめざしています。

### ○生活クラブ千葉

印西市木刈にあるデポ-木刈のリニューアルに合わせてデポ-内にコミュニティスペースを開設し、その有効活用と街の縁側活動が合致し、「地域共生社会実現に向けた地域づくり～街の縁側づくり～」の実行委員会を立ち上げ活動を始めました。地域の特徴やニーズをつかむため、コミュニティデザインの手法を取り入れ、ヒアリング、ワークショップを行いながら地域住民が主体となるよう、ゆっくりと丁寧すすめていきました。9月30日の地域（子ども）食堂から「街の縁側」活動がスタートしました。



生活クラブ 田端さん

### ○なのはな生協

現在成田市加良部地区のショッピングセンター内で開催している子ども食堂からべえは、こどもは無料、大人は300円で利用することができます。月2回の開催ですが、地域に浸透してきていることもあり、毎回100名程度の利用者がいます。9月24日の台風時の開催でもやはり100名近い利用者が来ました。このほか9月10日には60世帯に食材の配布を実施をしました。食材に使う豚肉は毎回地元の精肉店が6kg提供してくれています。このほか、ゲノム編集トマトの苗木の教育機関への無償提供計画の撤回の取り組みは本来は地域とともに反対の声を挙げていかなければならないと思っています。市町村だけでなく各学校へも受け取らないよう署名を集め、要望書を提出していきます。



なのはな 山田さん

### ○ちば住宅コープ

一社) まちかど防災『減災塾』とタイアップして、防災、減災について地域住民に寄与していこうという取り組みを始めました。具体的にはマンションの中庭の有効活用方法の相談があり、災害時にも役立つ中庭づくりなどを減災塾とともに提案していくところです。このように防災減災をキーワードにタイアップできたらと思っています。



住宅コープ 高橋さん

## 2. 今後の開催について

第4回 2022年12月19日 13:30～

第5回 2023年3月31日 10:00～



参加者のみなさん

**日時** 2022年10月12日(水) 10:00～11:35  
**開催方法** ZOOMを活用したWEB会議  
**出席** 鶴岡(千葉県庁生協)、大久保(千葉県学校生協)、石原(千葉大学生協、千葉商科大学生協)、有吉(東邦大学消費生協)、井形・風間(日本生協連職域生協事務局) 上山・佐久間・白井(千葉県連)

## 内容

### (1) 開会あいさつ

部会長の鶴岡専務より、2022年度第1回の職域生協部会は東大生協の視察見学の予定でしたがコロナの影響を考慮して再度延期とし、各生協の事業報告の中でコロナ禍での事業継続状況や工夫していることなどについて交流をし、今後職域生協間で連携した取り組みができる様にしていきたいとあいさつがありました。



県庁生協  
鶴岡専務

### (2) 2022年度上半期事業交流と下期の課題について各生協からの報告

#### ○ 千葉県学校生協

物価高の影響で諸経費が増大し供給事業での利益が出ない。指定店や保険会社の学校訪問が進まず事業の減収が続いている。新採者や未加入者の加入促進を積極的に進めているが、地域差もありキャンペーンの効果がでない。これまで単独でしていた配送業務を群馬・栃木と合同委託する事にした。下期は、事業ごとの収支の把握と経営資源の効果的投入に努める。職域生協部会で交流したいことは、若年層の加入促進についてです。



学校生協  
大久保専務

#### ○ 千葉大学生協・千葉商科大学生協

上期千葉商科大学の事業は順調だった。千葉大学は学内人口が回復し、食堂は6～8割ぐらい回復しているが購買での食品が伸び悩んでいる。また学生生活がコロナ前に戻ってきてサークル等の活動が再開し教習所の申込みが減った。コロナ対策として教科書販売がWebの事前予約販売となり22年後期からは一部対面販売が再開した。レジ等のシステム入替えが始まりiPadの「ユビレジ」に切り替わる。あわせて組合員証をアプリとして、マネーやポイントの活用も可能となる。職域生協部会で交流したい事は、共済の関係で職域生協との連携ができればと思う。

#### ○ 東邦大学消費生協

今年度は新生向けのパソコンの利用伸長が伸び悩んだ。自動車教習所の利用も伸長できなかった。(大学在学中に運転免許を取得する必要性?) 食堂事業においては週2～3回利用しても飽きないメニュー提案、フェア企画などで黒字経営にしていく。2023年新入生に向けて大学生協らしさのアピールする。

#### ○ 千葉県庁生協

チラシ供給は新商品や新企画がなかったため供給高が減少している。県庁内のセブンイレブン店はセブンイレブンアプリを使用した企画などが人気を集めていて、供給

高も好調。食堂事業は7月に10%の値上げをしたので売り上げは伸長しているが、密にならない環境づくりの為に利用者が減少しているのでお弁当の販売を強化している。自粛していた県庁内での催事や業者の出店販売等を再開しました。

#### ※ 共済との関係での連携について

- ・ 大学生協では大学生協では毎年卒生に出資金返金の案内を送っているが、新社会人（県庁職員や教職員）になる人に県庁生協や学校生協のアピールをする
- ・ 学生の時に加入していた学生総合共済が新社会人コース（好条件で掛金が安い）として継続が出来るので加入促進をする。
- ・ 県庁生協、学校生協はコープ共済連の扱いを検討

#### (3) 日本生協連職域生協事務局からの報告

井形事務局長より、以下の報告がありました。

- ① 日生協職域生協事務局の活動報告
- ② 今後の全国職域生協協議会などの予定について
- ③ 経営内容把握の取り組みについて
- ④ 事業部門別調査の取り組みについて
- ⑤ 今後の企画等についての案内

#### (4) 県連事務局からの報告

上山専務より、ウクライナの支援活動『お茶しませんかPJ』の8月、9月(バス見学)開催報告と9都県市合同防災訓練の参加、子どもたちに平和な未来をの開催報告と11月に開催する成年年齢引き下げの学習会、12月に開催する貧困の学習会の案内がありました。

#### (5) 第2回部会の日程

2023年3月8日（水曜日）10：00～

内容については視察、講演、セミナー等コロナの状況を踏まえ検討する。



# 2022 年度千葉県生協連政策検討会開催報告



日 時：2022年10月19日（水）10：00～14：00  
会 場：三井ガーデンホテル千葉 4階『天平』  
参加人数：5会員生協 59名（講師、事務局含む）



政策検討会は次年度の計画を考えるうえで、必要と思われるテーマを検討し、毎年、10月から12月に開催してきました。今回は感染対策を実施したうえで、3年ぶりに実参加として開催いたしました。



千葉県生協連 首藤会長理事

## ★当日のプログラム

- 10：00～開会およびあいさつ
- 10：05～講演  
『ケアラー支援の課題と必要な支援  
～ケアラーを孤立させない地域に～』
- 11：35～質疑応答
- 12：00～昼食
- 12：45～グループワーク
- 13：25～グループワーク発表
- 13：55～講師より
- 14：00 閉会

## ★開会あいさつ

コロナ禍で弱い立場の人々への影響は大きく、貧困問題や格差社会など、これまでもあった社会問題はさらに複雑化、深刻化しています。本日はケアラーについて現状と必要な支援を学び、「安心して暮らし続けられる地域社会のために自分は何ができるのか」を皆さんと一緒に考えたいと思います。

## ★講演『ケアラー支援の課題と必要な支援 ～ケアラーを孤立させない地域に～』

講師 日本女子大学名誉教授 堀越栄子氏

本日の目的の1つ目はケアラーとはどんな人なのかあるいはヤングケアラーとはどんな子どもなのか、その現状や抱える課題を理解すること、2つ目はケアラー支援というと要介護者の支援をイメージするが、ケアラーがより良い生活や人生を送れるよう支援することを理解すること、3つ目はケアラーやヤングケアラーを支援するためにどのような支援・施策が必要なのかを一緒に考えてみたいと思います。ケアラーとはこころやからだに不調のある人への「介護」「看病」「療育」「世話」「気づかい」などケアに必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことです。ケアを必要とする人は増加の傾向があり、誰もがケアラーになる可能性があります。ケアラーは自分のことは後回しにして、心身の健康を損ね、経済的に苦しみ、精神的に追い詰められ、社会的に孤立し、理解と支援を求めています。特に18歳未満のヤングケアラーはケアラーの自覚が無く、相談もできず、学校生活に影響することも多くあります。まずは、周りの大人が気付いてあげることが必要であり、そのためにも法律や条例を制定し、団体・地域のネットワークでケアラーを支えることが重要です。



講師の堀越先生

## ★ グループワークの報告

- ・ケアラー・ヤングケアラーについて知らないことが多かったが、近所にもヤングケアラーがいることに気づいた。地域に帰った時に知ってもらう場を作って、知る人を増やしたいと思う。
- ・生協では、コミュニティづくりができるので、色々な人がつながって協力することが大切。困っている人がいたら声をかけていきたい。
- ・ヤングケアラーへの支援として、地域の中で関係を創ってコミュニケーションをとることが大切。近所の子供の様子が分からないのでたくさんの人にケアラーの実態を知ってもらう事が大切。
- ・ヤングケアラーに発信してもらおうツールとして子どもでも分かるようなステッカーがあると何かあった時に駆け込むことができると思う。周りの大人たちがヤングケアラーの実態を知って、アンテナを高く持ち、気付いてあげることが大切。



### 【堀越先生より】

- ・生協の組合員はくらしにアンテナが高く、困った人がいたら何とかしようとする人が多いので、是非、『知ってもらおう』ということを地域に伝えてほしい。ケアラーにとって、社会に知ってもらうことがとても大切なことになる。生協は地域の拠点で啓発的に知ってもらおう事や狭い範囲で直接伝えることなど、色々なことができると思う。ヤングケアラーは知ってもらおう事を望んでいる。生協は一人ひとりの地域の気づきから、社会が暖かくなるような仕組みに変える力をもっているのでこれからも一緒に頑張りたい。

## ★ 参加者アンケートより（一部抜粋）

### （1）今回の講演の内容について

- ・「ケアラー」についてあまり知識が無く、また日常的にも自分自身体験したことはありません。講演を聴いてケアラーの問題について非常に見えづらい、気づきにくいという事がよく分かりました。まずはこの問題に目を向けること、目を向ける人が一人でも多くなる事が大切であると感じました。

### （2）グループワークについて

- ・県内複数の生協がひとつの課題について、講演を聴き、交流することで協力できることがあるのではという思いを強くしました。
- ・いろいろな生協、団体の方々とお話ができて大変勉強になりました。どこも助け合いの組織という事で話をしているうちに色々な働きかけができることを話しました。生協には多方面にベースを持っていて底力がある、その強みを活かして世の中を少しでも良くしていきたいです。



以上

## 第 43 回九都縣市合同防災訓練 医薬品搬送訓練報告



10月23日(日)、第43回九都縣市合同防災訓練(千葉県会場)の一環として医薬品搬送訓練に参加しました。今回の訓練は千葉県生協連が日本赤十字社千葉県支部と締結している「災害時における災害救助物資搬送の協力等に関する協定書」に基づき、相互の連携強化を目的に実施しました。

今回の訓練は千葉県東方沖を震源とするM7.3の地震により大網白里市で震度6強を観測し、負傷した住民が大網病院や大網白里アリーナ、公民館で救助を求めていることを想定し、医薬品を千葉県赤十字血液センターから大網白里市南消防署までの搬送をおこないました。当日は生活協同組合コープみらいに協力してもらい、医薬品が入っているアタッシュケースを2ケース搬送しました。



血液センターを出発



現地に到着



医薬品の引き渡し



南消防署の様子



# ウクライナからの避難者支援プロジェクト 第3回「お茶しませんか」開催報告

16 平和と公正を  
すべての人に



千葉県生協連では県内の行政や諸団体とともに、ウクライナから避難されてきた方の支援「お茶しませんか」プロジェクトをおこなっています。このプロジェクトは月に1回、ウクライナの方たちが気軽に集まり母国語でおしゃべりを楽しめる茶話会（名称「お茶しませんか」）を開催することを基本に、私たちができることをお手伝いするものです。

10月29日（土）に開催した第3回「お茶しませんか」では40人の参加がありました。これは、千葉県在住の避難者の半数近い方が参加されている状況です。

当日は、前回のバス見学会の動画を見ながら、バス見学会参加者からの報告と感想交流をおこないました。またアクティビティとして、ステンシルでのマイバッグ作りコーナーを用意したところ、多くの方が体験されました。

終了後はおまけ企画として、希望者に千葉神社の散策を楽しんでいただきました。

## ☆ 動画を見ながらバス見学の交流

とても楽しかった！と好評でした。



## ☆ 会場の様子



## ☆ マイバッグ作り(ステンシル)

楽しくカラフルなバッグができました！



## ☆ <おまけ> 千葉神社 散策

ほとんどの方が参加されました。



## 千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立	1949 年
会長理事	首藤 英里子
会 員	12 生協
準 会 員	2 生協
所 在 地	千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館 5 階

# 千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス <a href="https://mirai.coopnet.or.jp/">https://mirai.coopnet.or.jp/</a>
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス <a href="https://www.palsystem-chiba.coop/">https://www.palsystem-chiba.coop/</a>
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス <a href="https://chiba.seikatsuclub.coop/">https://chiba.seikatsuclub.coop/</a>
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス <a href="https://nanohana-coop.net/">https://nanohana-coop.net/</a>
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス <a href="http://www.chibakenseikyo.or.jp/">http://www.chibakenseikyo.or.jp/</a>
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス <a href="http://www.univcoop.jp/chiba-u/">http://www.univcoop.jp/chiba-u/</a>
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス <a href="https://www.univcoop.jp/toho/">https://www.univcoop.jp/toho/</a>
千葉商科大学生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス <a href="http://www.univcoop.jp/cuc/">http://www.univcoop.jp/cuc/</a>
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス <a href="https://www.jcgsk.com/">https://www.jcgsk.com/</a>
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス <a href="http://www.cjcoop.or.jp/">http://www.cjcoop.or.jp/</a>
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス <a href="http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/">http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/</a>
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス <a href="http://www.zenrosai.coop/">http://www.zenrosai.coop/</a>
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス <a href="http://www.tohto-coop.or.jp/">http://www.tohto-coop.or.jp/</a>
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス <a href="https://www.coop-joso.jp/">https://www.coop-joso.jp/</a>



 **千葉県生活協同組合連合会**

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)  
tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459  
<http://chiba-kenren.jp/>